

農地等の利用状況報告書

記入例

自 令和 × 年 × 月 × 日
至 令和 × 年 × 月 × 日

法人の事業年度の期間

令和 7 年 × 月 × 日

農業委員会への提出日

十和田市農業委員会会長 宛

住所又は
主たる事務所の所在地 十和田市大字■■字□×番地×
氏名又は
名称・代表者氏名 合同会社 とわだ○○
代表社員 十和田 いちろう
電話番号 0176-××-××××

農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利又は賃借権の設定を受けた農地（採草放牧地）について、農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けた者の氏名等

氏名又は名称・代表者氏名	住所又は主たる事務所の所在地
合同会社 とわだ○○ 代表社員 十和田 いちろう	十和田市大字■■字□×番地×

2 報告に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	作物の種類別作付 (又は栽培) 面積	生産数量	反収	備考
	登記簿	現況					
●●番町 ×番×	田	田	500	水稻 500	×× kg	×× kg/10a	
大字■■字□□ ×番××	田	畑	500	大豆 250 トマト 250	×× kg ×× kg	×× kg/10a ×× kg/10a	

3 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利又は賃借権の設定を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響

(例)作付作物及び耕作内容は、周辺農地において行われているものと同種であり、周囲に及ぼす影響はない。

4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

(例) 年2回程度、普請や草刈り等の当該地域の保全管理活動に参加している。

5 業務執行役員又は重要な使用人の状況

氏名	常時従業者の役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数
十和田 いちろう	代表社員	50日
十和田湖 きらら	業務執行社員	150日
官庁街 さくら	農場長	200日

6 その他参考となるべき事項

(記載要綱)

- 1 不要の文字は抹消してください。
- 2 報告書を提出する者が法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄附行為の写しを添付してください。
- 3 記の2の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 4 記の3の「農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
- 5 記の4の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組状況（今後取組む場合はその見込み）について記載してください。
- 6 記の5の「業務執行役員又は重要な使用人の状況」については、報告書を提出する者が個人である場合は記載不要です。「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がいない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。

なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。